

平成 17 年度 江戸川区「行政評価」事務事業分析シート

整理番号	41	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	スクールカウンセラーの派遣 (小学校)		
所属名	教育委員会 指導室 指導主事・事務係	電話番号	(03) 5662-1635 (直通)

事業の目的・課題	<b>事業の目的及び概要</b>
	1 いじめや不登校の未然防止や改善・解決を図ります。 2 学校内に教育相談体制の確立を図り、学習障害、注意欠陥・多動性障害への対応等を進めます。 3 区内20校の拠点校に各1名を配置。各グループに年間35週・週1日・8時間、定期的に派遣。
	<b>事業の開始年度</b> 平成14年度
	<b>現在の課題</b>
	1 各学校における組織的な教育相談体制が整ってなく、スクールカウンセラーを有効に活用できない。 2 管理職の意識が低い。 3 臨床心理士や豊富な経験を有するスクールカウンセラーが、全体的に不足しており、優秀な人材の確保が難しい。

対象	<b>事業の対象者と動向</b>	<input type="checkbox"/> 区民全体 <input type="checkbox"/> 対象年齢あり ( )
	[区小学校児童数・各年5月1日現在]	<input checked="" type="checkbox"/> 対象条件 ( 区内小学校の児童と保護者、及び教諭 )

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向	
34,512人	35,408人	36,459人	37,175人	37,867人	↗	増加傾向

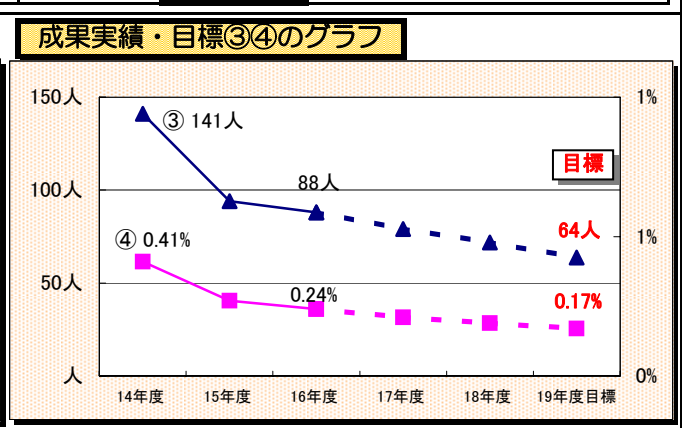
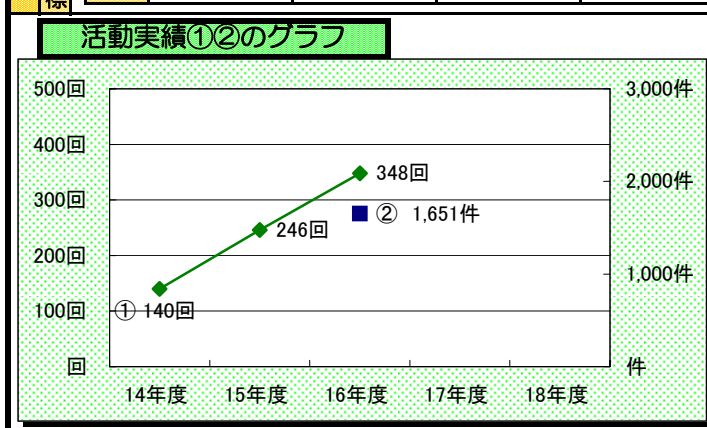
備考：

	活動指標名	活動指標の説明
①	スクールカウンセラー派遣回数	スクールカウンセラーが派遣された延べ回数
②	スクールカウンセラー相談件数	スクールカウンセラーが受けた、相談の件数

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
①	140回	246回	348回	回	回
②	件	件	1,651件	件	件

	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
③	不登校児童数	不登校の児童数
④	不登校児童数割合	全児童数に占める不登校児童数の割合

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
③	141人	94人	88人	人	人	64人	毎年、前年比△10%を目標とします。
④	0.41%	0.27%	0.24%	%	%	0.17%	



# 事業名 スクールカウンセラーの派遣（小学校）

## 実施の根拠となる法令等

江戸川区立小学校スクールカウンセラー配置要項

## 民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし  あり

委託等の内容（ ）

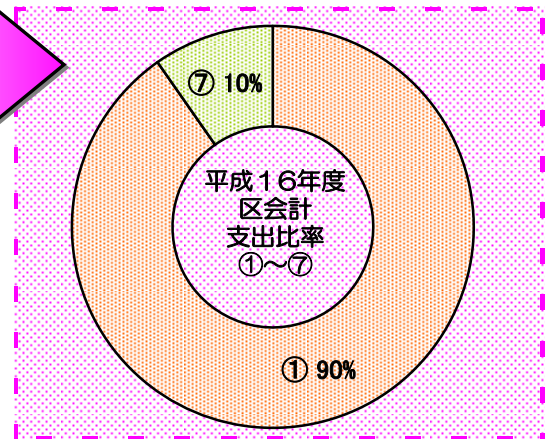
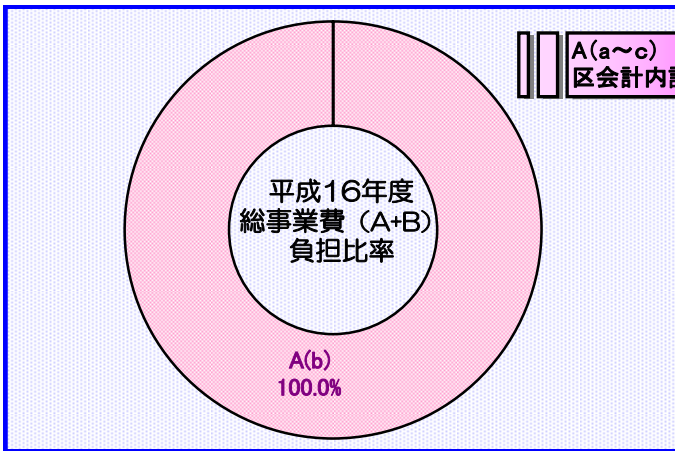
## 対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	中学校へのスクールカウンセラーの派遣	全校に年間35週、週1日8時間配置。
②		
③		

## その他背景・他の自治体の状況等

近隣区では、墨田・足立・葛飾区で実施。

16年度総事業費（A+B） 8,538千円



## A 区の会計内訳 (a~c)

8,538千円

A(a) 国都支出金（歳入）	0千円
A(b) 区負担分	8,538千円
A(c) 受益者負担（歳入）	0千円

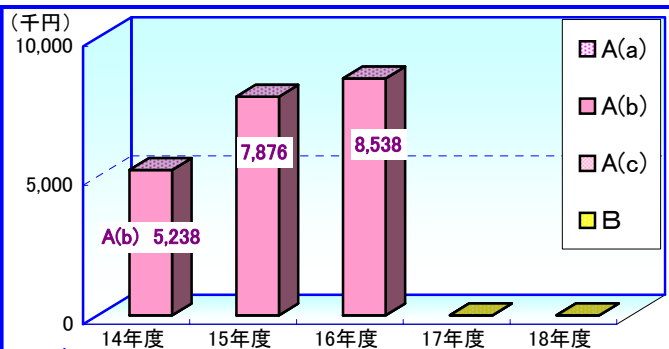
## 支出内訳 (①~⑦)

① スクールカウンセラー謝礼	7,716千円	派遣人数12人、延べ派遣回数348回
②	0千円	
③	0千円	
④		
⑤		
⑥		
⑦ 区職員の人件費	822千円	

## B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

## 総事業費の経年変化（14年度～）



ア 常勤職員	0.1人
イ 非常勤職員	
ウ 臨時職員	

16年度の  
相談件数一件あたりの経費

**5,171円**

## 経費の説明

経費の9割は派遣するスクールカウンセラーへの謝礼です。

経費は全額 区が負担しています

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

<b>整理番号</b>	41	<b>事業名</b>	スクールカウンセラーの派遣（小学校）
-------------	----	------------	--------------------

<b>所属名</b>	教育委員会 指導室 指導主事・事務係
------------	--------------------

## 所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

	評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
<b>【必要性・代替性】</b>								
1	区が実施すべき事業である。		○					
2	目的を達成するために他の手段がある。							
<b>【実績】</b>								
3	目的を果たすために有効な事業である。		○					
4	事業の成果を上げている。		○					
<b>【公平性】</b>								
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○				
6	受益者負担を検討する必要がある。					○		
<b>【協働の可能性】</b> ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価								
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。					○		
8	民間委託の可能性はある。					○		
<b>【効率性】</b>								
9	工夫や改善が必要である。			○				
10	経費を削減できる可能性がある。				○			

## 所 管 部 長 の 意 見

スクールカウンセラーの専門的な助言により、いじめや不登校等の未然防止、改善及び解決ならびに学習障害・注意欠陥/多動性障害への対応等、学校内の教育相談体制の充実に成果を上げている。今後派遣回数を増やし、さらに校内の教育相談体制を整備していく。

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

<b>整理番号</b>	41	<b>事業名</b>	スクールカウンセラーの派遣
-------------	----	------------	---------------

<b>所属名</b>	教育委員会 指導室 指導主事・事務係
------------	--------------------

## 外部評価委員会評価

そう思う ← → そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。				○		
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。		○				
6	受益者負担を検討する必要がある。				○		
<b>【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価</b>							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。			○			
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。			○			
10	経費を削減できる可能性がある。			○			

## 外部評価委員会の意見

- ・現在、子どもたちの心身の発達段階において、様々な問題点・課題が多いが、子どもの立場に立った指導を期待する。
- ・アドバイザーも必要だが、教師自身も能力向上のための勉強が必要ではないか。
- ・各グループあたり、週に1回8時間の派遣時間は少ないように感じる。将来的にはさらに充実してほしい。